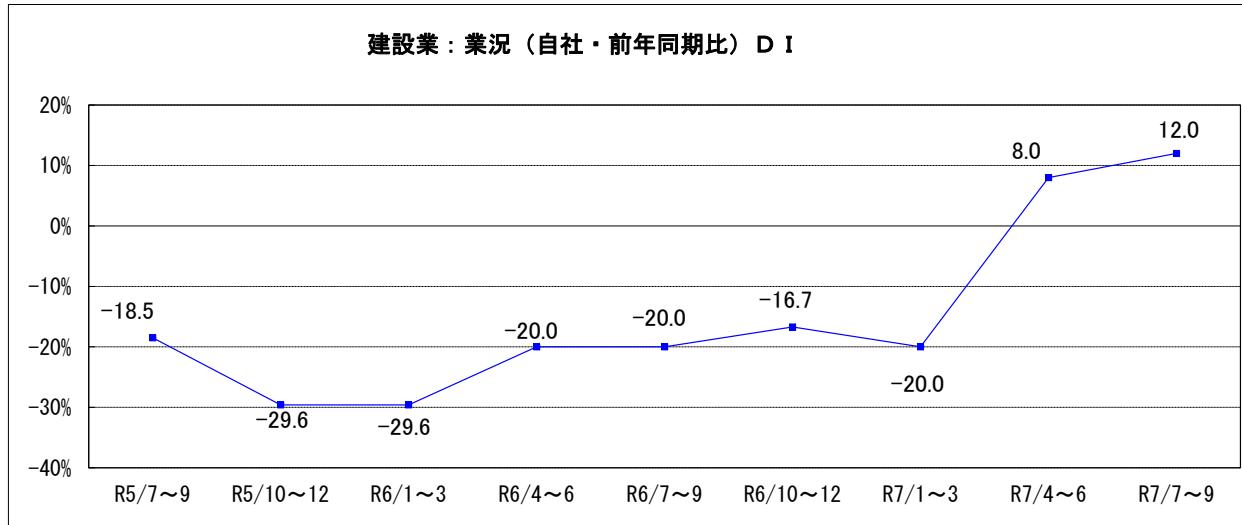


3. 建設業の動向

(1) 業況概要（前年同期比）

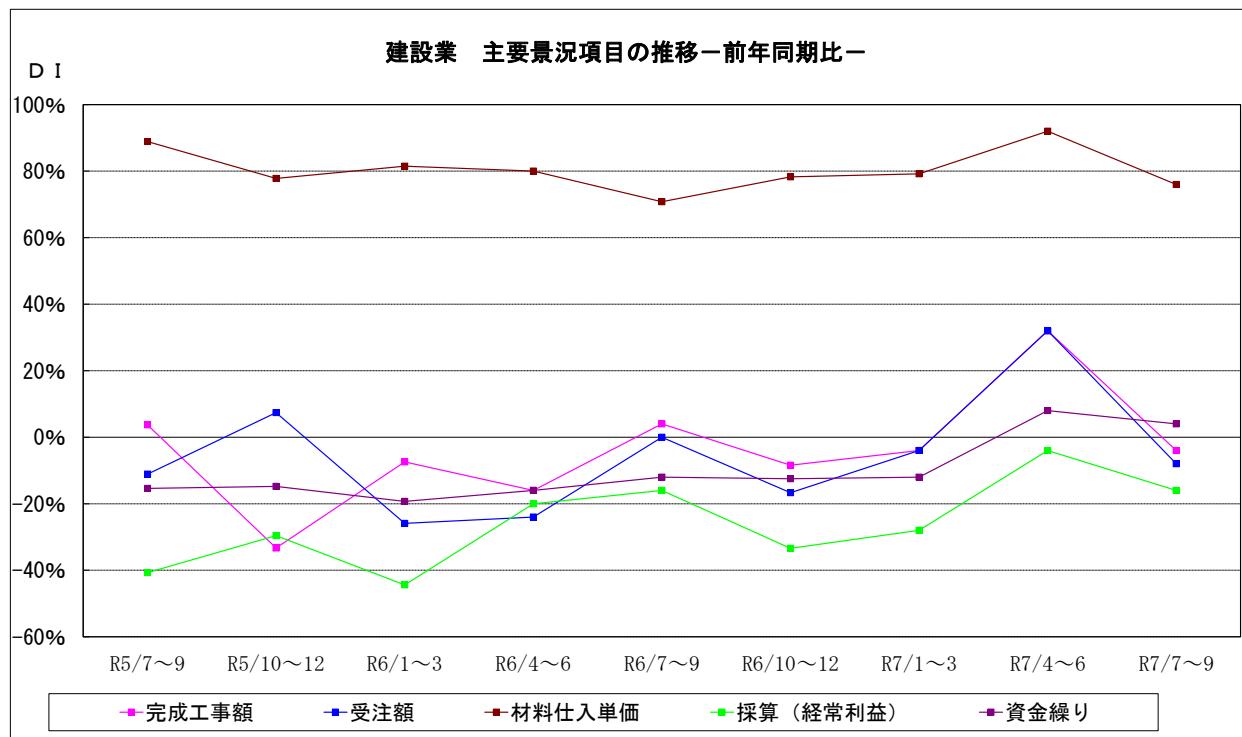
今期の業況DI値は12.0。前期の8.0から4.0ポイント上昇した。

来期の見通しは4.0の予想である。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

	前々期 (R7年1月～3月)	前期(A) (R7年4月～6月)	今期(B) (R7年7月～9月)	今期と前期の差 (B)-(A)	来期見通し
完成工事額	-8.4	32.0	-4.0	-36.0	12.0
受注額	-16.7	32.0	-8.0	-40.0	4.0
材料仕入単価	78.3	92.0	76.0	-16.0	76.0
採算（経常利益）	-33.4	-4.0	-16.0	-12.0	-4.0
資金繰り	-12.5	8.0	4.0	-4.0	0.0

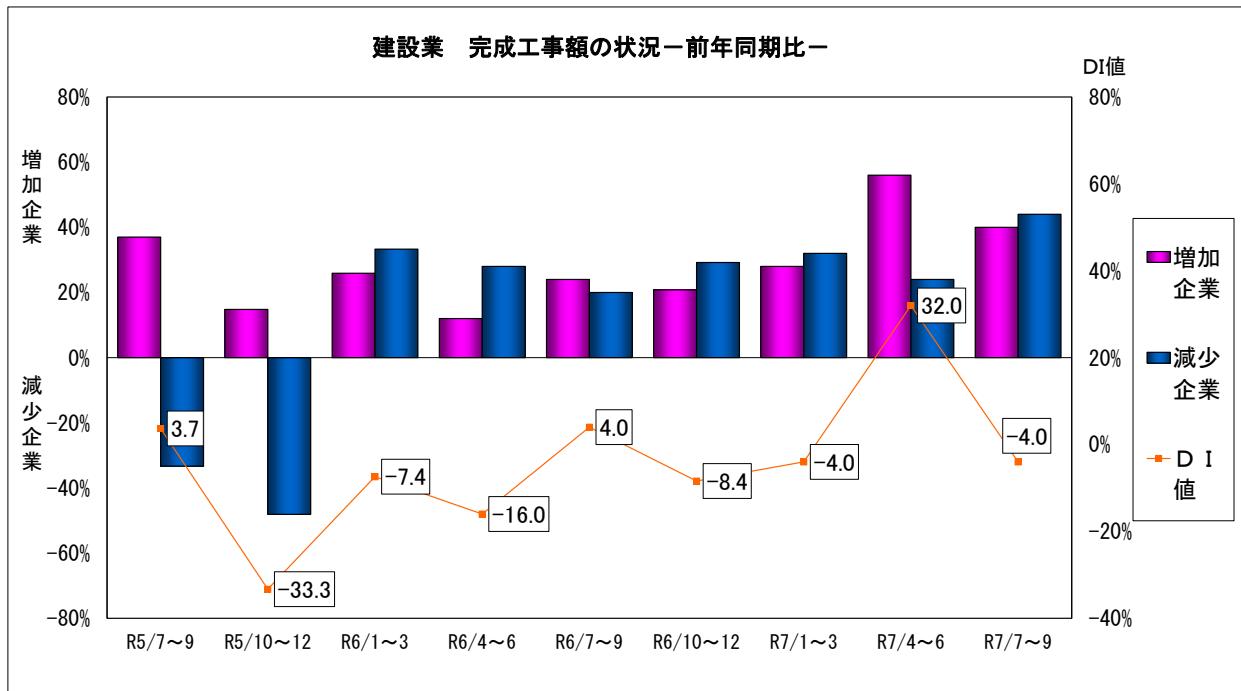


(2) 主要項目の概況

①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事（請負工事）額DI値は-4.0。前期32.0から36.0ポイント低下した。

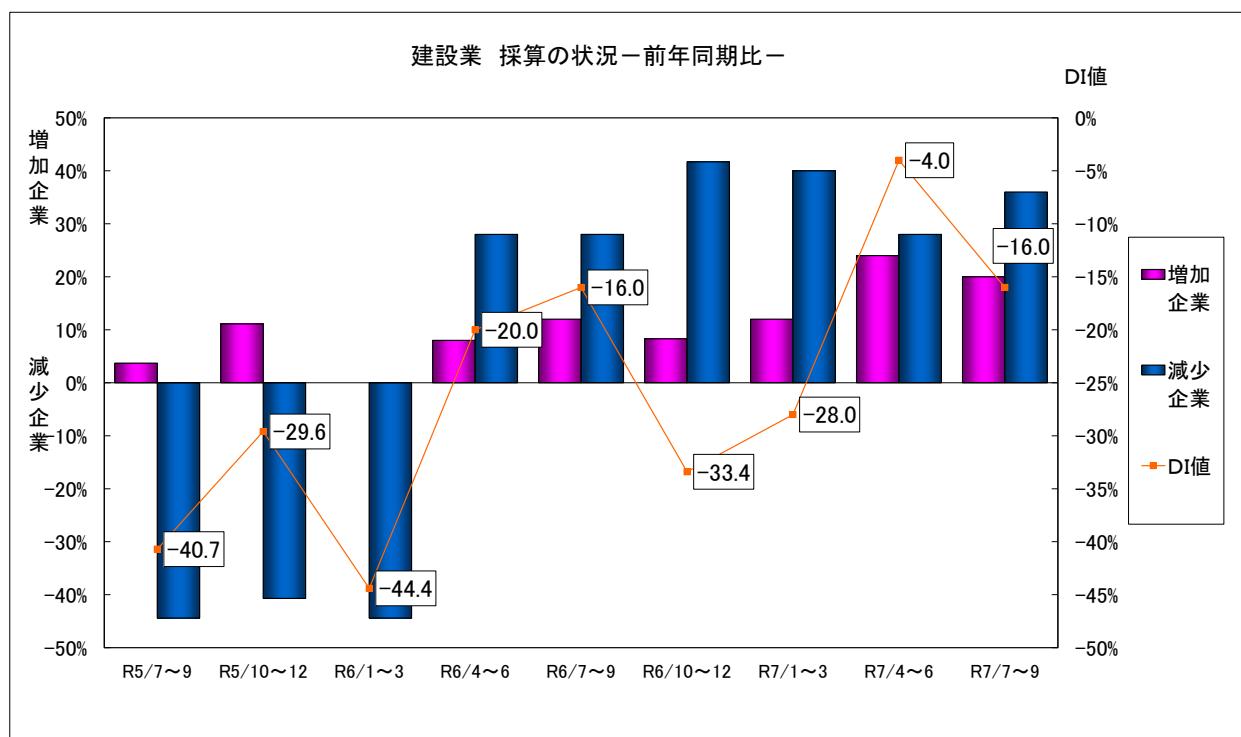
来季の見通しは12.0の予想である。



②採算（前年同期比）

今期の採算（経常利益）DI値は-16.0。前期の-4.0から12.0ポイント低下した。

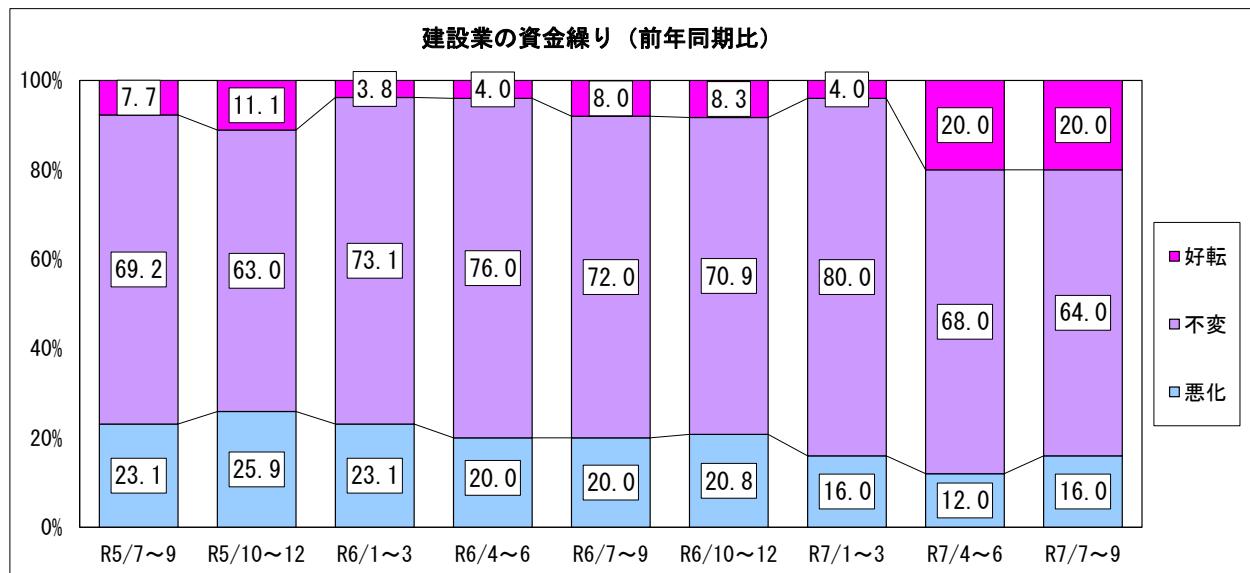
来季の見通しは-4.0の予想である。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は4.0。前期の8.0から4.0ポイント低下した。

来季の見通しは0.0の予想である。

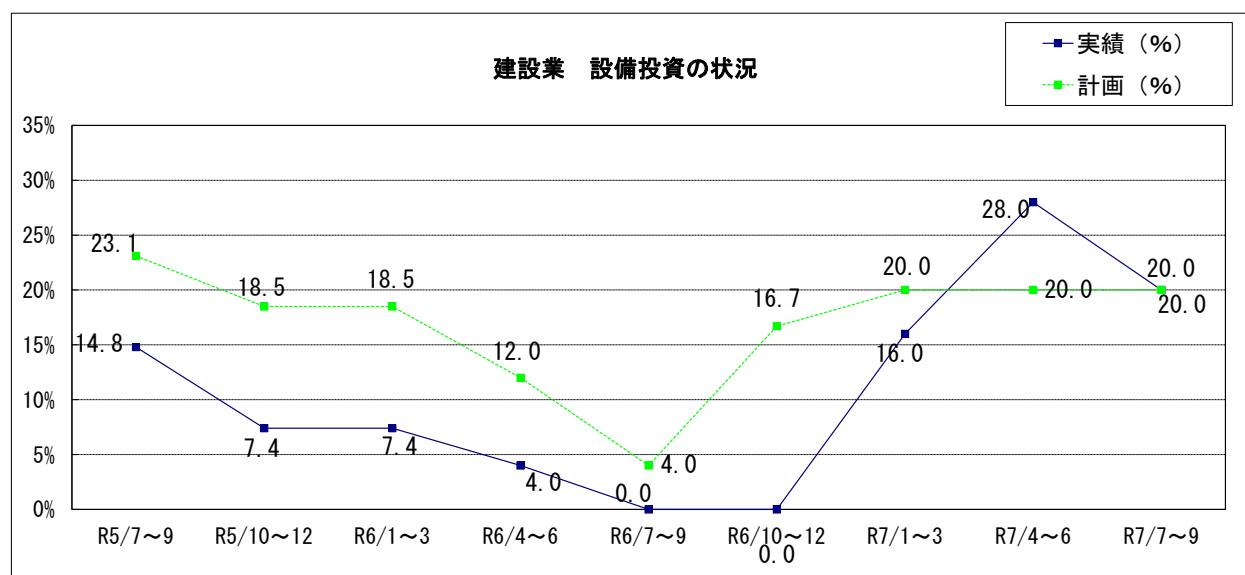


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	O A機器	福利厚生施設	その他	
今期実施	5	0	0	3	3	0	1	0	0	20
	20.0	0.0	0.0	60.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0
来期計画	5	1	1	1	1	0	1	1	2	20
	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	80.0

今期設備投資を実施した企業は5社(20.0%)。前期(令和7年4月～6月)の実施企業7社(28.0%)來期は5社(20.0%)が新規設備投資を予定している。



⑤経営上の問題点

今期、建設業が経営上の問題点として一位～三位にあげる項目は

- ・「材料価格の上昇」 (前期71.4%→今期65.0%)
- ・「人件費の増加」 (前期38.1%→今期45.0%)
- ・「材料費・人件費以外の経費の増加」 (前期28.6%→今期25.0%) となっている。

